

第三十二回支部総会を開催

記念講演 アンチエイジングを学ぶ



二十六人が参加した(五月二十九日・洲本市文化体育館、2面に感想文)

淡路支部ニュース

2010.6.25
No. 260

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒650-0001 洲本市物部三丁目44
松本医院内
☎0799-22-0041

Let's...

最近のマスコミは、新聞・テレビ共にトップは殺人事件であり、国家的あるいは世界情勢の記事はその次と思っているのは私だけでしょうか？

一方、大事件・重要ニュースが同一日に集中するように思えてならない。たとえば六月二日、ソユーズ野口聡一さんが日本人として最長宇宙滞在から帰還の日(無事に帰られるか否か)、先日より開始の子ども手当の実情はのり、そこへ飛び込んできたのが鳩山さんの辞意表明(加えて私には女流登山家・田部井さんの回顧談発表)である。

私は殺人事件の報道は一般人に方法を教えていないか？市販薬からヒ素発生の方法を目で見て教えている？これを紙面の片隅や小さく報道しておれば？と思われるなら

や行事報道欠如ということである。

六月はいわゆる記念日や行事の多い月。一日は衣替え、十日は「一時の記念日」、わが協会も県医師会も総会の月、諸種学会や株式会社も総会が多く、さらに梅雨という？季節。

私個人としての記念日がある。まず三日は戦傷の日。昭和二十年六月三日午後九時四十分頃、泰緬(たいめん)国境(タイ国と現ミャンマー当時ビルマ国)で、地雷の爆発で負傷。「私の手から石がコロコロ出る」と題して書いたことがある。次いで九日は昭和十四年、戦争の落とし児・旧制医専の第一期生としての入学式の日、そして二十八日は昭和二十一年、四年間の軍務(捕虜生活約一年)を終えて、故国日本―鹿児島港へ復員の日、そして三十日が生地神戸へ帰り、亡き父や妹と再会した日。そして、今年も参院選に入。

【松本記】

第三十二回総会・記念講演

「アンチエイジング」 検査データから薬まで

洲本市 馬詰 裕道



講師の望月俊男先生

淡路支部は五月二十九日、洲本市文化体育館で第三十二回支部総会を開催。二十六人が参加した。同志社大学生命医科学部アンチエイジングリサーチセンター研究員で、香川県・橋本病院院長の望月俊男先生が「アンチエイジング医療の実際と問題点」をテーマに記念講演した。感想文を紹介する。

講師の望月先生は、関西で初めてアンチエイジングクリニックを作り、現在、日本抗加齢医学会評議員を務める循環器専門医です。講演はアンチエイジング

(抗加齢)医学の目的(健康長寿)や医療での位置づけに始まり、老化の評価には血管年齢、神経年齢、ホルモン年齢、骨年齢、筋年齢を用いるという話をされ、その測定方法と値の読み方を説明されました。血管年齢は動脈硬化危険因子の是正が重要であること、ホルモン年齢では、メラトニン、成長ホルモン、DHEAについて詳しく解説さ

れました。

また、自らのクリニックで行った抗加齢ドックでの検査データ(BMI、アディポネクチン、PAIN、ホモシスチン、ビタミンE、CoQ10など)を示され、抗加齢ドックは生活習慣病の一次予防に貢献できる可能性がある」と話されました。

後半には、食事の話や血液検査でのデータの読み方など、実践的な話がありました。食事指導では、糖質制限をしても、脳はケトン体を栄養にするという最近の話題に触れ、血液検査では、尿酸は抗酸化物質なので値に注意する、低アルブミン血症は亜鉛不足を示唆するなど話されました。

(3面に続く)



たくさんの質問が参加者から出された
(五月二十九日、洲本市文化体育館)

(2面から続く)
また、サプリメントを患者から相談された時の対応のコツについて説明があり、最後は日常使用している降圧剤、高脂血症薬でアンチエイジン

グ効果(認知症予防、動脈硬化予防、DHEA増加)のある薬剤の具体名をあげて解説されました。

講演後は参加者より多数の質問があり、また、栗田哲司先生の軽妙な司会で、参加女性のために(?)ヨモギ茶入りの抗糖化作用のあるクリームで肌のくすみや硬化を予防する話を追加されました。

私も日本抗加齢医学会の専門医で、今回知識の整理を目的に五人のスタッフと参加させていただき、大変勉強になりました。スタッフからは「少し難しかったが、日本での抗加齢医学の流れがわかった」「食事時間、食べ方に気をつけようと思った」などの感想がありました。

アンケート

～皆様の診療所のトイレはいかがですか？～

イ. 様式

- ①和式 ②洋式

ロ. 性別

- ①別々 ②共用

医療機関の内装が華やかになっている昨今ですが、各医院のトイレもそれぞれ千差万別ようです。島内医療機関のトイレ事情について伺ってみたいと思いますので、ご協力いただければ幸いです。【松本敬明】

ハ. 誰が掃除をしますか

- ①看護師 ②事務員 ③家人 ④業者 ⑤その他()

ご回答は、FAX078-393-1802 事務局まで

今後も様々なアンケートを実施予定です。
ぜひともテーマをお寄せください。

会員投稿

「最小不幸社会」という 不幸なネーミング

洲本市・歯科 藤原 知

「最小不幸社会」の実現を
目指すという。
ピンチに強い、逆境に強
い、痛みを強い人があるよ
うに、不幸に強い、ないし不
幸に鈍感な人もいる。そし
て、不幸と感じるといつて
も、それを情感する当人に
よって、その深刻度はさま

ざまに違う。その限りで不幸
という心情は、不確定性を含
んである。そのことを認めた
上でやはり、不幸は不幸であ
る。

さて「最小不幸社会」にも
不幸はある、ただし大きな不
幸はだめ、最小級だけの不幸
だけが存在する、最小不幸社
会はそんな社会のように読み
取れる。

目指す社会にあつて、不幸
の根絶を言わないでその温存
を許そうとする。不幸も量的
に最小であればいいとする。

そういえば、沖繩の不幸も
確実に温存した。その上で不
幸の軽減―負担の軽減―だけ
をやたらに口にしてみせた。

質的变化は嫌いらしい。そ
して量的変化(過重から軽微
へ)のレベルでは多弁であ
る。

私の理解によれば、菅首相
の思想的背骨は「社会民主

義」の一変種―「市民運動家」
という出自を一定程度映して
―のそれである。

彼らは、現体制の中で資本
総体から資本を持たざるもの
総体への、権力ないし執権の
移行を嫌う。あくまでも現体
制を温存しつつ、あれこれの
矛盾を解決しての決着とす
る。この場合の決着は、ただ
量的変化としての改良主義的
決着となる。

さてここで改めて、彼らが
説く日本を元気にする政策を
覗いてみる。

強い経済・強い財政・強い
社会保障／成長戦略・税制抜
本改革・行政機構改革のそれ
ぞれを一体化して、政治の強
いリーダーシップのもと実現
を計るといふ。

肝心な何かが脱落してい
る。そう、日本人と日本を深
く蝕んでいる「貧困」と「格
差」である。

人間と人間の再生産―「個
体維持」と「種族維持」／
衣・食・住とその他(医療な
ど)―に関わる「貧困」。そし
て、その「貧困」を主な原因
として、全生涯を通じての人
間生活のありよう―誕生・進
学・学歴・就職・職階・住宅・
“終いの棲家”・文化と医療
環境など―に関わって出現す
る「格差」。

「貧困」と「格差」について
のこうした本質的な深い理解
と衝動のないところ何を言っ
ても、何をやっても駄目であ
る。そこに泣きもさせ笑いも
させる、それでいて暖たかい
人間の心を宿らせることとは
ない。

「貧困」と「格差」から目を
外すことは許されない。「貧
困」と「格差」こそ“不幸”
を呼ぶ疫病神であるからであ
る。「最小不幸社会」ほどたわ
けた物言いはない。